

普及活動情勢報告（平成 30 年 5 月分）

安芸農業振興センター

酒米「吟の夢」栽培暦検討会を開催しました ～特産部酒米研究会～



熱心に説明を聴く生産者

4月18日、JA土佐あき特産部酒米研究会が安芸市東川公民館で開催され、生産者9人が出席し、酒米「吟の夢」の平成30年度栽培暦を検討しました。

農業改良普及課は、斑点米の原因となる吸穂性カメムシ類の防除方法について指導し、薬剤散布を適切な時期に行うことでカメムシの発生をより確実に抑えることができることを説明しました。

生産者は、昨年度の栽培で感じた疑問を普及員や先進農家と意見交換を活発に行い、「今年はみんなで一等米が取れるように頑張ろう」と意気込んでいました。

農業改良普及課は、引き続き研究会等で関係機関と連携して栽培方法や病虫害の防除について、中山間地域の酒米生産を振興します。

田植え初体験で賑わう!! ～東洋町野根で小学生の田植え学習体験～



熱心に田植えする児童たち

4月26日、東洋町教育委員会主催の田植え体験学習が東洋町野根で行われ、甲浦小学校児童15名と野根小学校児童3名の計18名が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は苗の植え方を指導し、児童たちは熱心に聞き入っていました。最初は水田に入るのを怖がっていた児童もいましたが、周りに励まされながら、ゆっくりと水田に入り地元の水稻農家やJA営農指導員の補助のもと楽しそうに田植えをしました。なお、児童たちが植えた稲から穫れた米は、学校給食で食べることになっています。

農業改良普及課室戸支所は、今後も関係機関と連携して食育学習を支援し、児童たちの農業への関心を高めていきます。

安芸市産のナスが食べられる飲食店マップ完成!! ～なす6次産業化チーム会～



安芸市になす料理を
食べにきてね!

なす6次産業化チーム会(構成員:安芸市、JA土佐あき、安芸商工会議所、農業改良普及課)は、安芸市でナス料理を食べられる仕組みづくりを検討し、ナス料理が食べられる安芸市の飲食店の紹介やなすび記念日等の説明を記載した「安芸名物なす料理お食事マップ」を作成しました。

農業改良普及課は、飲食店からメニュー内容や営業時間等の店舗情報の聞き取り、安芸桜ヶ丘高校生へメニューのイラストを依頼等マップづくりが円滑にできるように支援しました。

完成したマップは5月1日に安芸市施設園芸品消費拡大委員会が道の駅「大山」で配布し、消費者にPRしました。

農業改良普及課は、今後も引き続き、消費者に向けてマップを活用しながらナスの消費拡大に取り組みます。

湿度を制御して病気を予防しよう ～穴内支部園芸部園芸研究会青年部会勉強会～



湿度制御による病害防除・増収効果の知識を深めよう！

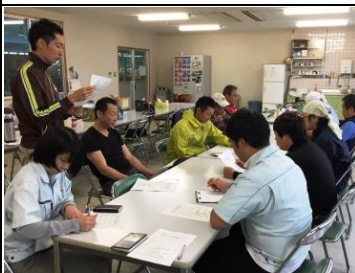
5月7日、穴内支部園芸部園芸研究会青年部会が穴内集出荷場で勉強会を開催し、生産者11人が出席しました。

農業改良普及課は、今年度から重点プロジェクト課題に新たに加わった湿度制御による病害低減の取り組みや環境制御技術実証ほのハウス内管理や来園芸年度の実証内容について説明しました。

病害の発生予防には、相対湿度を下げるため今の時期でも加温機を回すのが有効な方法であると説明すると、「黒枯病を抑えるためには加温せんといかん。他の人はもう止めているが、うちはまだ止めんよ」といった前向きな意見も聞かれました。

農業改良普及課は、今後も病害低減・増収を目指して、湿度制御の観点からも環境制御技術を各部会に普及していきます。

凶悪な害虫の脱走を阻止すべし!! ～ブルースター部会勉強会・全戸巡回～



害虫が自分のハウスに“里帰り”してきたら困りますよね？

5月8日、花卉部芸西支部ブルースター部会が芸西集出荷場で勉強会と全戸巡回を行い、部会員7人が参加しました。

勉強会では、農業改良普及課から春以降増えているアザミウマ類への薬剤防除とハウス内で増えてしまった害虫を外に逃がさないように栽培終了後のハウス内蒸し込みを徹底するように指導しました。

これまで部会で蒸し込み処理は行われておらず、生産者からは、「他の品目でも取り組むように指導してほしい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回を通じて、施設花き栽培での物理的・耕種的防除の推進に取り組みます。

露地オクラの現地講習会を開催しました ～中芸集出荷場研究会オクラ部会～



熱心に説明を聴く生産者

5月9日、11日、16日の3日間、中芸集出荷場研究会オクラ部会が露地オクラの現地講習会を6地区で開催し、部員44人が出席しました。

農業改良普及課は、今年の生育状況や今後の肥培管理や草勢管理ポイントを、JAは新しい防除薬剤やバンカープランツを利用したIPM技術の取り組みを指導しました。

生産者は、今後の栽培管理に活かそうと今年の生育状況をふまえ、追肥や病害対策の疑問を指導員や先進農家へ質問し、活発な情報交換ができました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と連携して部会活動への支援を通じてオクラの生産を振興します。

今年度はどんな風にしようかね ～安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会総会～



30年の活動計画について
協議中

5月10日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会が安田町ふれあいセンターで総会を開催し、女性リーダー19人が参加しました。

総会では、平成29年度活動報告と平成30年度活動計画について協議しました。また、「つどい」については、安芸管内の特徴的な活動であり今後も継続することと、地区内の女性リーダー同士の連携を深めるため、室戸・東洋地区で交流会を行うこと等が決められました。農業改良普及所は、オランダ視察研修やはちきん農業大学等について情報提供しました。

農業改良普及課は、今後も女性リーダーが自主的な計画活動を実施できるように支援します。

今期の栽培終了まで残りひと月、しっかり管理を！ ～安芸集出荷場営農相談日～



生産者の相談に対応する
営農指導員（左）と
普及指導員（右）

5月17日、農業改良普及課はJA土佐あき営農指導員とともに安芸集出荷場でナス生産者を対象とした営農相談日を開催し、生産者80人に対応しました。

農業改良普及課は、5月中旬以降の栽培管理について、JA営農指導員は土壌消毒剤「キルパー」の登録適用拡大と「キルパー」の勉強会の開催について案内しました。

生産者からは温湿度管理の相談が多く、病害対策の一環として夜温の高い日はサイドだけでなく天窓も開けて湿度を抜くよう指導しました。

農業改良普及課は、来月の営農相談日に栽培終了後の残渣処理や土壌消毒を中心に病虫害対策を指導し次作の品質・収量アップにつなげます。

環境制御技術で増収をめざそう ～芸西村ナス有志グループの取り組み～



ナス栽培での現地検討

芸西村では、ナス生産者の有志7人が集まり、昨年11月から毎月環境制御技術をテーマに勉強会を開催しています。

5月17日、栽培コンサルタント会社を招き、ピーマン生産者5人も参加して管理方法等について意見交換しました。農業改良普及課は湿度制御による病害防除の取り組みなどの情報提供を行いました。

生産者からは「マルチはしたほうがいいか」、「雨天翌日の晴れた日の灌水時間は」、「雨の日は換気扇の利用は」等多くの質問がありました。また、有志グループは講師の提案した週別の生育調査、環境データ等を把握し、解析していく意向を示しました。

農業改良普及課は、今後も有志グループの活動を支援し、全員の増収を目指します。